



みんなで考えよう

平和と人権

「人権文化をすすめる県民運動」

芦屋市人権シンボルマーク

第73回 ふれ愛シネサロン



鉄の暴風と言われた激しい空襲、艦砲射撃、
上陸戦の絶望に追い込まれた沖縄戦。
その中で「生きろ！」と後世に一筋の命を託した
2人の官僚と沖縄の人々の物語。

島守の塔

監督・脚本：五十嵐 匠

出演：萩原聖人／村上 淳／吉岡里帆 ほか



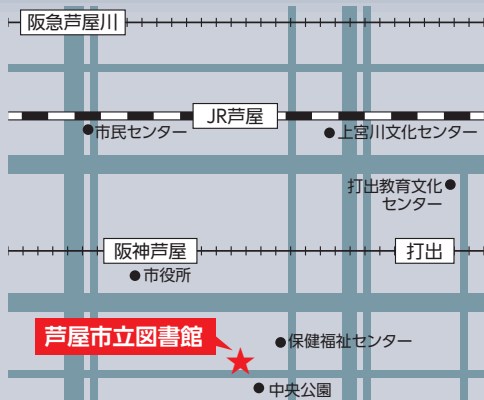
令和5年8月5日(土)

〈2回上映・30分前開場〉字幕あり

【午前の部】映画会 10:00~12:15

【午後の部】戦争体験者のお話(手話通訳あり) & 映画会 13:30~16:05

※上映の前に、戦争体験者のお話(15分)があります。



会場 芦屋市立図書館 2階集会室

芦屋市伊勢町12番5号

※駐車場は1時間無料ですが、台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※阪急バスで緑町または中央公園前下車、徒歩2分(臨港線北側)

●手指消毒・マスクの着用にご協力をお願いします。

入場料 無料 定員 各回70名[先着]

申込方法 7月5日(水) 午前9時より受付開始

●専用の「申込みフォーム」よりお申し込みください。

●託児申込み:定員各回3人(6か月~未就学児)

※電話でのお申し込みは、人権・男女共生課まで

問合せ 芦屋市 人権・男女共生課
TEL.0797-38-2055

主催 芦屋市・芦屋市教育委員会

申込フォーム



申込締切
7月28日(金)まで

同時開催

平和の絵本の読み聞かせ

未就学児対象 10:00~10:30

小学生対象 10:30~11:00

会場 1階よみかかせの部屋

平和に関する本・絵本も展示しています。

申込不要

親子で参加
できます



県民の4人に1人、20万人が犠牲となった日本国内唯一の地上戦「沖縄戦」。命を懸けて「命(ぬち)どう宝、生きぬけ!」と叫び続けた2人の官僚と、命の重みを受け継ぎ「沖縄戦」を生き抜いた沖縄県民。それぞれの苦悩と生きることの奮闘を描き、本土復帰50年の節目に「命の尊さ」を次世代に継承する映画が誕生しました。

沖縄戦末期、本土より派遣された2人の内務官僚がいた。戦中最後の沖縄県知事として赴任し、軍の命令に従いながらも苦悩し、県民疎開・保護に尽力した島田^{あきら}叡（兵庫県出身）と、島田と行動を共にし、職務を超え努力した警察部長の荒井退造。2人から命の重みを受け継いだ沖縄県民の戦火に翻弄されながらも必死に生きるそれぞれの姿を描きます。島田叡役には映画やドラマ、ナレーションなど幅広く活躍している萩原聖人。荒井役には日本映画界に欠かせない俳優・村上淳。実力派俳優の共演が実現した。また、島田の世話役の県職員・比嘉凜を吉岡里帆が熱演。凜の妹で看護学徒隊の比嘉由紀を池間夏海が、映画「ひめゆりの塔」に出演していた香川京子が現代の凜を演じている。監督は「地雷を踏んだらサヨウナラ」など社会派作品で知られる五十嵐匠。



萩原 聖人



村上 淳



吉岡 里帆